

# 頑張れ受験生!

Applicants Hone Entrance Exam Skills

卒業生・創大生から  
応援のメッセージ!

みんな  
頑張れ!!

創価大学を卒業して社会で活躍している卒業生や、先輩にあたる創大生から、  
現在、受験勉強に取り組んでいる皆さんへの応援メッセージをいただきました!

① 受験生時代の思い出を教えてください。② 大学入学後に頑張ったことは何ですか? ③ 就職活動はいかがでしたか? ④ 受験生の皆さんにメッセージを!

諦めないこと。  
常に自分のベストを  
尽くすこと。  
そこから道は開けます!

田中 梓さん  
東京都中学校国語教員  
創価大学 文学部  
日本語日本文学科卒業(36期)



① 3年の夏休みから本格的に受験勉強を始めました。学校の成績には自信があったので「公募推薦で受かるしかない」と決めていました。しかし、結果は不合格…。結果を受けたその日はとてもショックでしたが、「もっと勉強するチャンスを与えられた」と前向きにとらえ、一般入試の合格を目指して再び勉強を開始しました。途中、逃げ出したくなったりしましたが、自分の夢を叶えるため、そして何より応援してくれる家族や友だちの気持ちに応えるため、最後まで諦めずに頑張りました。そして、一般入試で合格を勝ち取ることができたのです。受験を通して、「諦めないこと」の大切さを学ぶことができました。

② 落語研究会と学生国際センターの活動を頑張りました。落語研究会では、個性豊かなメンバーとともに、真剣にお笑いで人を幸せにすることを考えてライブづくりに励みました。学生国際センターでは、留学生と関わる機会がたくさんありました。そのおかげで、国境を超えた友情を結ぶことができ、「世界平和の縮図」を実感しました。また、平和のシンポジウムを

開催して「平和」についていろんな人と語り合う中で「教育」の重要性に気付きました。これがきっかけで、「国語教師になる」という新たな夢が見つかったのです。

③ 東京都の「国語」の教員採用試験を受けました。1次試験は専門教養(国語)、教職教養のペーパーテスト、そして論文文があり、2次試験は集団討論と個人面接がありました。私は特に論文文が苦手。「国語の教師を目指しているにも関わらず文章能力がないなんて、自分は国語教師には向いていないのではないか」と挫けそうになりました。しかし「国語が苦手だからこそ国語の大切さを痛感した私には、国語が得意な人にはない魅力と、大きな使命があるはずだ」と自分で自分を励まし、何度も何度も苦手な論文文に立ち向かいました。そして試験まで残り1カ月を切ったころ、はじめて「合格作文」と言えるレベルのものを書くことができました。試験本番ではその合格作文のテーマと似たテーマが出たので自信を持ってすらすらと書くことができ、1次試験を無事に通過。2次試験の面接では、先生や友達と何度も練習をしたおかげで、落ち着いて話すことができました。教育にかける情熱と自分らしさを精いっぱいアピールした結果、ついに最終合格を勝ち取ることができたのです! 自分を支え励ましてくださったすべての人たちには、心から感謝しています。

④ 皆さんは、無限の可能性を持っています。常に「何のため」という目的意識を持って、受験勉強に取り組んでください。そうすれば、きっと自分でも驚くほどの勇気がわいてくるはずです。人と比べることなく常に自分のベストを尽くすことを考えて、頑張ってください! 創価大学には、そして社会には、皆さんのことを待っている人たちがたくさんいますよ!

体調をこじらせて入退院を繰り返した時期がありました。しかし、本当に「つらい」と思える経験があったからこそ、就職活動を乗り切れたのだと自負しています。

③ 公務員試験に挑戦していたので、勉強漬けの毎日でした。具体的に勉強を始めたのは3年生の5月。3カ月前まで入院していたため経済的に厳しい状況で、バイトとの両立は本当に大変でした。それでも1日最低5〜6時間は勉強すると決め、必ず実行していました。夏休みからはバイトを辞めて、勉強時間を8〜10時間に延長。部活を引退した10月からは、毎日10時間以上勉強しました。公務員試験の本に「合格者の平均勉強時間は、受験までに2,200時間」とあったので、「自分くらい出来の悪い頭でも、3,000時間勉強すれば受かるだろう」と思い、本当に3,000時間しました。つらいときは「両親が自分を育ててくれた20年間に比べれば、こんなつらさはたいしたことない!」と思いながら、体に鞭を打ちました。苦しいことも多かったですが、生涯の親友と呼べる同期や先輩、地元の仲間、そして両親のおかげで、受けた学科試験はすべて合格することができました。現在は八王子市役所に勤務しています。

④ 受験生の皆さんは、今が人生で一番勉強をしている時期だと思います。大変つらいかもしれませんが、心の底から「つらい!」と叫びたくなくなるような経験をしてこそ、自分の夢をかなえることができるのだと私は思います。いつか皆さんと、創価大学生として、そして創大OB・OGとして、出会える日を楽しみにしています!

「創価大学を世界一に」  
創大生は皆、  
決意に燃えています!

中村 健さん  
三菱商事株式会社 内定  
創価大学 教育学部教育学科4年



① 3年生の10月まで、クラブと学園祭の「中心者」として全力で活動していたので、本格的な入試勉強は10月後半から。2月中盤からは遅れを取り戻そうと一般入試まで毎日15時間程度勉強しましたが、途中で体力が持たず、点滴を打ちに行ったことが、笑い話として記憶に残っています。創価大学は、母からの「創立者のもとで学んでほしい」という強い勧めと、世界に開かれた大学で学びたいという想いから、第一志望にしていました。

② 「世界中に友達をつくりたい」という想いを実現するために、努力し続けました。具体的には英語、読書、そして人間交流(寮生活/英語研究会/米国留学)です。特にアメリカ・ニューヨークでの留学は、人生のターニングポイントとなりました。その理由は、理想と現実のギャップを「現実」として認識できたからです。心が折れそうにもなりましたが、「このギャップを埋め、必ず乗り越えてみせる」と立ち上がり、新しい挑戦を開始することができました。

受験は成長の  
大きなチャンス。  
夢に向かって  
挑戦していきましょう!

佐藤 志保里さん  
ソフトバンク株式会社 内定  
創価大学 文学部英文学科4年



① 公募推薦入試で受験しました。所属していた吹奏楽部が3年生の10月に全国大会に出場することが決まり、毎日早朝から夜までの練習と、受験勉強との両立が大変でした。しかし、「どちらも全力でやり抜く」と決めて取り組んだ結果、大会では銀賞を受賞。入試は合格し、特別奨学生になることができました。

② 将来「世界を舞台に働きたい」という想いから、英語と中国語の習得に力を入れました。1年生の時から、外国人の教授のもとで生きた英語を学習。また、毎日図書館が閉まる21時までは家に帰らないと決めて勉強しました。そして中国語の習得を目指し、3年生の夏から1年間、中国の雲南師範大学と清華大学に私費留学をしました。最終的に、英語はTOEIC850点、中国語はHSK9級を取得する事ができました。現在も、志

③ 留学前に模擬就職活動を行い、大体の流れを掴みました。帰国した11月から本格的な就職活動を始めましたが、2月までは「日本で本当に働きたいのか」「就職活動をやる意味はあるのか」という想いが頭の中で渦巻いている状況。当然ながら、よい結果は出ませんでした。しかしキャリアセンターの方々やOB・OGの先輩方から温かい励ましを受け、そして何より創立者からの激励のメッセージを読み返すことで奮起し、総合商社・三菱商事株式会社から内定をいただくことができました。

④ 創価大学を世界一の大学にしようと、教・職・学・OB・OGが一体となって、本気で努力をしています。「自分が創価大学を世界一にするのだ」と決意に燃える先輩・同期・後輩と4年間をともに過ごせる大学は、おそらく世界を見渡しても多くはないでしょう。皆さんが創価大学に入学し、世界一を目指す仲間として一緒に頑張っていける日を心待ちにしています。お互い、ベストを尽くしましょう!



の高い仲間と切磋琢磨しながら過ごしています。

③ ソフトバンク株式会社から内定をいただきました。第一志望の外資系企業に次々と落ち、毎日が諦めそうになる弱い自分との闘い……。そんな逆境の中でも前に進めたのは、キャリアセンターやOB・OGの皆様が、土日返上で「後輩のために」と必死にサポートしてくださったからです。そんな先輩方の姿を見て、「私も後輩たちの希望になりたい!」と挑戦し続けました。この内定は、創立者をはじめ、大学の先輩方、両親、同期の仲間に支えていただいたからこそ、勝ち取れたものだと感じています。

④ 受験は、プレッシャーや不安でいっぱいになる時もあると思います。私自身、創価高校を受験した際、毎日12時間の勉強をして臨みましたが不合格だった経験があります。その時は、まるですべての希望が断たれたかのようなでした。しかし、その時の悔しさがあったからこそ、努力することを知り、時間を無駄にしたくないという信念ができました。受験は、成長の大チャンスだと思います。「苦に徹すれば人間は輝く」という私の大好きな、創立者の言葉があります。ともに、自身の限界に挑戦し続けましょう!



# 頑張れ受験生!

卒業生・創大生から  
応援のメッセージ!

みんな  
頑張れ!!

① 受験生時代の思い出を教えてください。② 大学入学後に頑張ったことは何ですか? ③ 就職活動はいかがでしたか? ④ 受験生の皆さんにメッセージを!

## 忍耐強く 前進し続ければ 必ず道は開けます!

佐藤 明子 さん

株式会社関電工 内定  
創価女子短期大学  
現代ビジネス学科2年



① 高3の夏までバレーボール部のキャプテンとして部活動に打ちこんでいました。その上、理系のクラスに進んでいたのも、短大の一般入試の受験科目である国語の勉強は、まったくというほどしていませんでした…。しかし引退後は平日5時間、休日10時間の勉強に挑戦。経済的な理由から塾に通うことは難しかったため、毎日図書館に通いました。また一つの参考書を繰り返しボロボロになるまで使い続けました。これらが私の自信へとつながりました。どんなときでも励まし続けてくれた家族や、短大の先輩、友人の支えがあったのが受験でした。今でもあの辛かった日々、合格通知が届いたときの感動は、昨日のこのように覚えています。

② 学生生活では、あいさつを心がけたり、授業で一番前に座ったりなどして、「短大生」としての自覚を高めるようにしています。資格は秘書検定

2級を取得しました。また短大2年間で4年分のものでしようと、勉学はもちろん、さまざまなことに全力で取り組んでいます。現在は中国研究会の部長を務めています。また昨年、第25回白鳥祭実行委員会の副実行委員長として得た経験は私の宝物です。2時間半の通学時間を要する私にとって、毎日のように活動をする実行委員会は参加するだけでも大変でしたが、真剣な先輩の姿や創立者のご慈愛に触れるたび、短大スピリットを感じずにはいられませんでした。そうした中で、先輩や友人との絆が生まれ、今でも心からの友情を育んでいます。

③ 周囲の短大生が就職活動に本腰を入れ始めたころ、私は卒業式実行委員会で毎日活動をしていました。両立の中で行う就職活動は苦勞の連続。寝る時間を惜しんで就職活動に取り組む私を、応援してくださる教職員の方々や短大の先輩、その他多くの方々に応えようと、すべてに打ち込んでいきました。無事卒業式実行委員会をやり抜き、企業の面接では、日々の短大生活で学んだことやゼミで研究した内容などを堂々と語ることができました。そして忍耐強く前進し続けたことで、第一志望の株式会社関電工より内定をいただくことができました。

④ 受験生のときは先の見えないトンネルにいる思いにとらわれるかもしれませんが、さまざまなことが起こりますが、「すべてが自分の宝となる」と考え、自信を持ってもらいたいと思います。自分の使命を見つけるには、与えられた現状に対し、努力と忍耐をもって全力でぶつかり抜くしかありません。受験生の皆さんを応援しています!

## 学習アドバイス 【創価大学・平成23年度一般入試】

受験生必見!  
受験勉強のポイントを  
アドバイス

一般入試では初日、2日目と文法、構文の問題が比較的多く見られる。長文では、とても長い問題も見られ、英文を正確に速く読み、大意をつかむことができるかが問われる。単語レベルはセンター程度となっており、問題も素直になっているので、取り組みやすい印象である。

基本的に語彙力、文法力、読解力を身につける必要がある。語彙力をつけるには日々少しずつ単語を覚えていくことが必須だ。毎日30分で十分なので、語彙力の増強を図ってほしい。そして単語を覚える際には、音声とともに覚えることが重要で、それで十分な発音・アクセント対策になる。

文法力をつけるには、文法参考書を通読することが役立つ。文法・イディオム問題の対策も必要なので、簡単な問題集を1冊購入し、それを何度も間違いがなくなるまで演習してもらいたい。

読解には2つの勉強法がある。一つはいわゆる精読であり、ここでは、和訳だけでなく、S、V、O、Cおよび修飾関係等をきちんと捉える訓練をしたい。一文一文構造を考えながら必要に応じて和訳を加える勉強である。もう一つは、速読の勉強である。速読と呼ばれるが実際は「前から後ろに戻らずに読み進む」勉強である。読み下しの際には、音読を薦めたい。テキスト等で新しい単元に入る際、辞書は引かず、3回音読し大体の論旨が分かるようにする。続けていくと明らかに上達が見られる。

ゴートウスクール・ドット・コム(株) 作成

